



水辺で学ぶ
東京農大生との自然観察会

調査の途中にはこんな大きい蝶の幼虫も見つかる。



昼食は流しそうめんに舌鼓。暑い中での冷たいそうめんを堪能していました。



体験館では、今回見つけることができた生き物を振り取り、生き物が住む自然の大切さを学びました。



見つけた生き物がどんな生き物か興味津々。



カメラレポート
Camera Report

一人ひとり網を手に水辺を調査。子どもたちが夢中になったひとときでした。



生き物を探す子どもたちの目は真剣そのもの。



「どんな生き物が捕まえられたかな」

東京農大生との自然観察会
水辺で
学ぶ



学生と子どもたちの交流も深まりました。

村の自然に親しみ、興味を持つことや生き物に関する知識を増やすことなどを目的とした「東京農大生との自然観察会」は八月十日、「ほっとはうす・さめがわ」などで開催されました。

自然観察会は、村と東京農大短期大学部環境緑地学科が主催したもので、青生野小学校の児童や保護者など約三十人が参加しました。この日、講師となったのは、東京農大短期大学部環境緑地学科の竹内将俊助教授と、環境緑

地学科の学生七人で、はじめに朝日山登山道(東口)入口の池で水生動物(昆虫)の調査を行いました。子どもたちは、学生と一緒に網で池の水をすくい上げ、トンボの幼虫やドジョウ、カエルなどを捕まえるたびに歓声を上げていました。引き続き、ほっとはうすに場所を移し、ほっとはうす前のピオトープ(さまざまな生き物が生息できる場所・環境)の調査を行いました。ピオトープの中でもいろいろな生き物を見つけることができ、身近な自然を肌で感じることもできました。

昼食は、ほっとはうすで流しそうめんに舌鼓を打ちました。次々とそうめんが流されると子どもたちは、おいしそうにはおぼっていました。また、昼食後には今回実施した自然観察会のまとめが行われ、学生らが今回の調査で見ることができた水生動物(昆虫)について説明。見つけた生き物の種類から調査地域には豊かな自然環境が残っていることがあらためてわかりました。

「東京農大生との自然観察会」参加者の声

- ばったをつかまえた。むしをみつけた。たのしかったです。
しらいしかずやくん (1年)
- みずのなかにいるいきものをつったのがたのしかったです。
ながいゆうたくん (1年)
- どじょうをつかまえました。たのしかったです。ながくばたくとくん (1年)
- きょうはいきものをいっぱいみつけたのしかったです。ながいもえさん (1年)
- 今日、虫がいっぱいとれてうれしかったです。長井瑠香さん (2年)
- さいしょにたんぽこいる虫をとりました。なかにびんくのさかながいました。かわいかったです。たないりゆうきくん (3年)
- いろいろな生き物をつかまえてよかったです。大学生とこんちゅうとかをつかまえて楽しかったです。長久保直人くん (3年)
- 大きなどじょうがとれてよかったです。山形よしきくん (3年)
- みたこともないいきものがいました。たのしかったです。いきものなまえはドジョウやかいをみつけました。金田優太くん (3年)
- 今日、東京農業大学のみなさんといっしょに、自然観察をしました。一緒にカエル、ドジョウ、イモリなどを見つけてました。笹島渚さん (4年)
- きょうはいけみたくいところについてやまめとかどじょうとかげんごろうをとったのがたのしかったです。笹島達也くん (4年)
- 今日、自然観察会でイモリやドジョウ、ゲンゴロウなどいろんな生き物をつかまえて楽しかったです。分からない生き物の名前を教えてくださいました。東京農業大学のみなさんありがとうございました。長久保恵里さん (5年)
- 自然観察では、大学の人たちと一緒に水の中の生き物をいろいろ見つけました。たとえばドジョウ、おたまじゃくし、ヤゴ、イモリなどを見つけてとてもいい思い出ができました。長井美紅さん (5年)
- しぜんかんさつかいていろいろなものをみつけたりつかまえてたりしてたのしかったです。しぜんかんさつかいてきてくれた人たち、ありがとうございました。笹島望さん (5年)
- きょうはイモリやどじょうをみました。ぼくのつかまえたいきものはどじょうかおたまじゃくしです。おおものがつれてよかったです。柵井諒平くん (5年)
- ぼくはしぜんかんさつかいてやってわかったことがありました。カニとかほそいむしは朝日山にいます。ほととはうすさがわではイモリやドジョウをつかまえました。たのしかったです。吉成達也くん (5年)
- 自然観察会で、私はドジョウやおたまじゃくしなどを見つけてました。よかったです。大学の人たちといっしょに観察できてよかったです。楽しかったです。笹島美幸さん (6年)
- いろいろな生き物がいっぱいつかまえてよかったです。たのしかったです。山形康浩くん (6年)
- いきいきと生き物を探している子どもたちを見ることができて楽しい時間でした。思っていた以上に生き物がいて驚きました(でも昔はもっと多かった)。だんだんと自然が変わってきているような気がしました。自然に触れる機会が多いのになかなか触れさせていないのが現状なので、これからはできるだけ触れさせたいです。長久保明美さん (保護者)



今回の観察会で確認できたゲンゴロウ、ホトケドジョウ(しみずっこ)、アカハライモリ、そしてカエル類などは首都圏では、絶滅もしくは絶滅の恐れのある種



今回の観察会で確認できたゲンゴロウ、ホトケドジョウ(しみずっこ)、アカハライモリ、そしてカエル類などは首都圏では、絶滅もしくは絶滅の恐れのある種



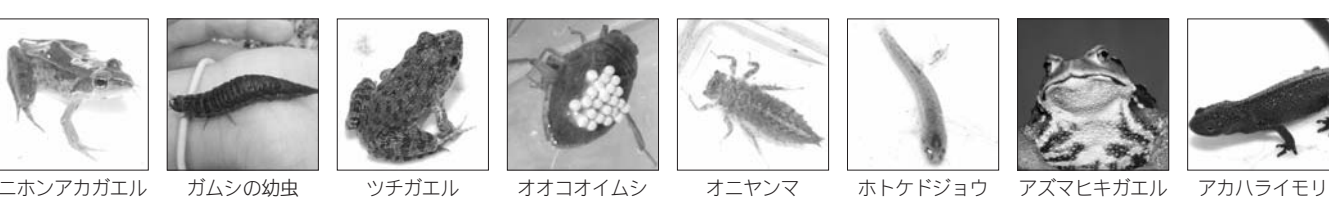
青生野小学校のみなさんと水辺の生き物を観察して

東京農業大学
短期学部環境緑地学科
たけうち まさとし
竹内 将俊 助教授

農村生態系における生物多様性からみて水辺環境は特に重要であるとされています。鮫川村は、その面積の約七〇%以上が森林で、安定した水環境のもと、水田が広く存在しているのでたくさんの生き物が生息しています。

減少している種に指定されています。鮫川村で普通に生息している昆虫やカエル、サンショウウオは都会の子どもたちにとって観察することが難しい生き物です。

もし、鮫川村の子どもたちもこれらの生き物があまりにも身近なため興味を持たないのであれば、今回のような都会の人との交流を通じて地元の宝を再認識していただければと思います。



今回の調査で見つけた生き物たち



上…網をすくい上げて生き物を調べる子どもたち
下…見つけた生き物を確認する会員ら

鮫川にカジカが棲める環境に
調査実施となりました。

当日は、会員や親子など約三十人が参加。川の両岸や流れがゆるやかな場所などを押し棒で網に追い込み、すくい上げて調べました。網の中には、シマドジョウやサワガニ、トンボのヤゴなどが次々と入り、豊かな河川であることが確認できました。

今回の調査では、カジカを見つけては喜ぶことができましたが、今後は河川の水質調査にも取り組んでいく予定です。

2
鮫川にカジカを呼び戻す会(仮称・斎須寛一代表)では八月二十日、役場前の河川(鮫川)で生息調査を行いました。



上…休耕田の水路を調べる子どもたち
左…多くの人が参加した観察会

1
自然に触れる機会を
大清水集落協定が自然観察会を開催

観察会を行いました。今回の自然観察会は、ホタルの生態や水辺などに住む生き物の観察を通して、自然の大切さを学ぼうと行われたもので、同協定では初めて実施。講師には、埼玉県の中学校で理科の教師をしていた水野春雄さん(赤坂中野字宿ノ入在住)を迎え、富田地区の小学生や協定参加者など約二十人が参加しました。

子どもたちは、指導を受けながら休耕田を調べると、ホタルのやささとなるカワニナやサワガニ、ホトケドジョウなどを次々と見つけました。また、場所を移して今はあまり見られなくなったトンボの生息を確認するなど、鮫川地区の自然に直に触れ、有意義なひとときを過ごしていました。